

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和01年09月25日

計画の名称	坂出市における港の安全性の向上（防災・安全）													
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	坂出市													
計画の目標	港湾施設の改良を実施し、施設の長寿命化を図り、施設の安全性を向上させる。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		865	A	865	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	改良工事によって、安全に利用することのできる施設割合の向上 改良工事の実施割合の向上 (機能確保率) = (対象施設のうち安全に利用可能な施設延長 / 改良が必要な全延長)	0%	60%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
港湾事業	A02-001	港湾	一般	坂出市	直接	-	重要	改良	東運河岸壁(-4.5m)の改良	延長L=100m 水深D=5.5m	坂出港・東運河地区					481	-		
	A02-002	港湾	一般	坂出市	直接	-	重要	改良	中央埠頭2号岸壁(-8.0m)の改良	延長 L=170m	坂出港・中央ふ頭地区					176	-		
	A02-003	港湾	一般	坂出市	直接	-	重要	改良	中央埠頭4号岸壁(-4.5m)の改良	延長 L=120m	坂出港・中央ふ頭地区					54	-		
	A02-004	港湾	一般	坂出市	直接	-	重要	改良	中央埠頭浮さん橋の改良	1基	坂出港・中央ふ頭地区					4	策定済		
	A02-005	港湾	一般	坂出市	直接	-	重要	改良	林田D号岸壁(-4.5m)の改良	延長 L=146m	坂出港・林田地区					150	-		
												小計					865		
												合計					865		

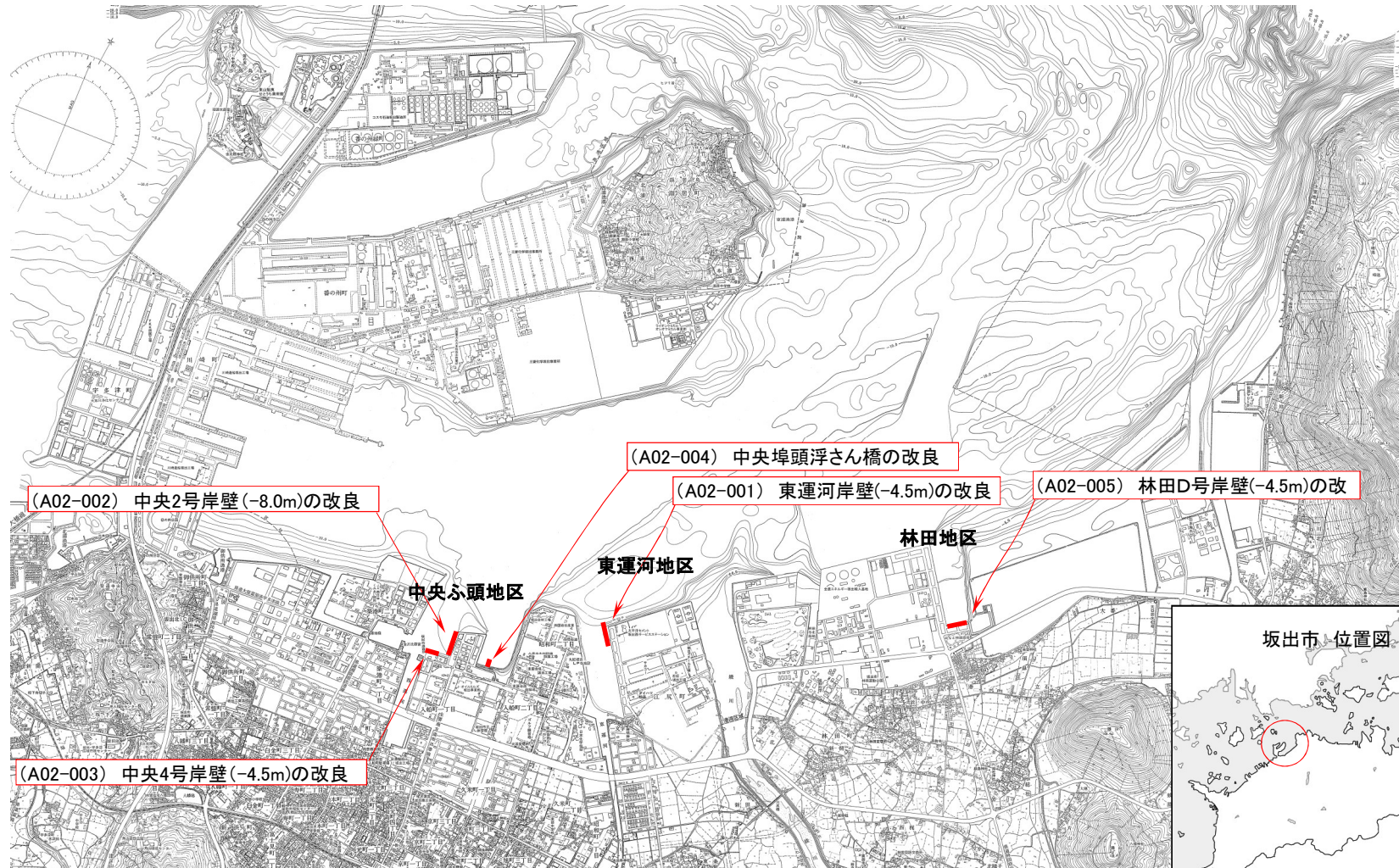
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	
配分額 (a)	17	100	57	57	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	17	100	57	57	
前年度からの繰越額 (d)	0	6	64	36	
支払済額 (e)	11	43	84	72	
翌年度繰越額 (f)	6	64	36	21	
うち未契約繰越額 (g)	0	8	8	11	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	-1	1	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	6.6	7.43	11.82	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由				近隣箇所の工事により岸壁の調整が必要となり不測の日数を要したため。	

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

計画の名称	1 坂出市における港の安全性の向上（防災・安全）	交付対象	坂出市
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）		



(A02-002) 中央2号岸壁(-8.0m)の改良

(A02-004) 中央埠頭浮さん橋の改良

(A02-001) 東運河岸壁(-4.5m)の改良

(A02-005) 林田D号岸壁(-4.5m)の改良

中央ふ頭地区

東運河地区

林田地区

(A02-003) 中央4号岸壁(-4.5m)の改良

坂出市位置図

事前評価チェックシート

計画の名称： 坂出市における港の安全性の向上（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画（社会資本整備重点計画、坂出港港湾計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指数・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指数・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指数・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 2) 全体事業費、要素事業費の額が適切である。	○
III. 計画の実現可能性 3) 事業実施のための環境整備が図られている。	○